

山口県看護協会助産師職能委員会 中堅助産師研修会報告

平成28年11月13日(日)、山口県看護研修会館において、第4回「産科医療補償制度・医療事故調査制度」(医療安全・記録を含む)のテーマで、日本看護協会常任理事福井トシ子先生をお招きし中堅研修会を開催しました。参加者は20名でした。

「産科医療補償制度」では、2009年開始から制度改定に至ったデータを解説されました。CTGの深い解読の必要性、常位胎盤早期剥離の腹痛に関する医療従事者の認識と保健指導の必要性、トラウベで心音が聴ける技術習得などを学びました。

「医療事故調査制度と看護管理者の役割」では、制度創設の経緯、事故発生後のご家族への対応・現場保全について、記録の取り方、ご家族の立場にたつこと、など多くを学びました。

今回、産科管理に関する内容を含んでおり、助産師以外の参加希望のお問合せをいただきましたが、中堅助産師研修会のためご遠慮いただきました。今後は産科医療に関係する看護職の方々が参加できる研修会を計画していければと考えています。

